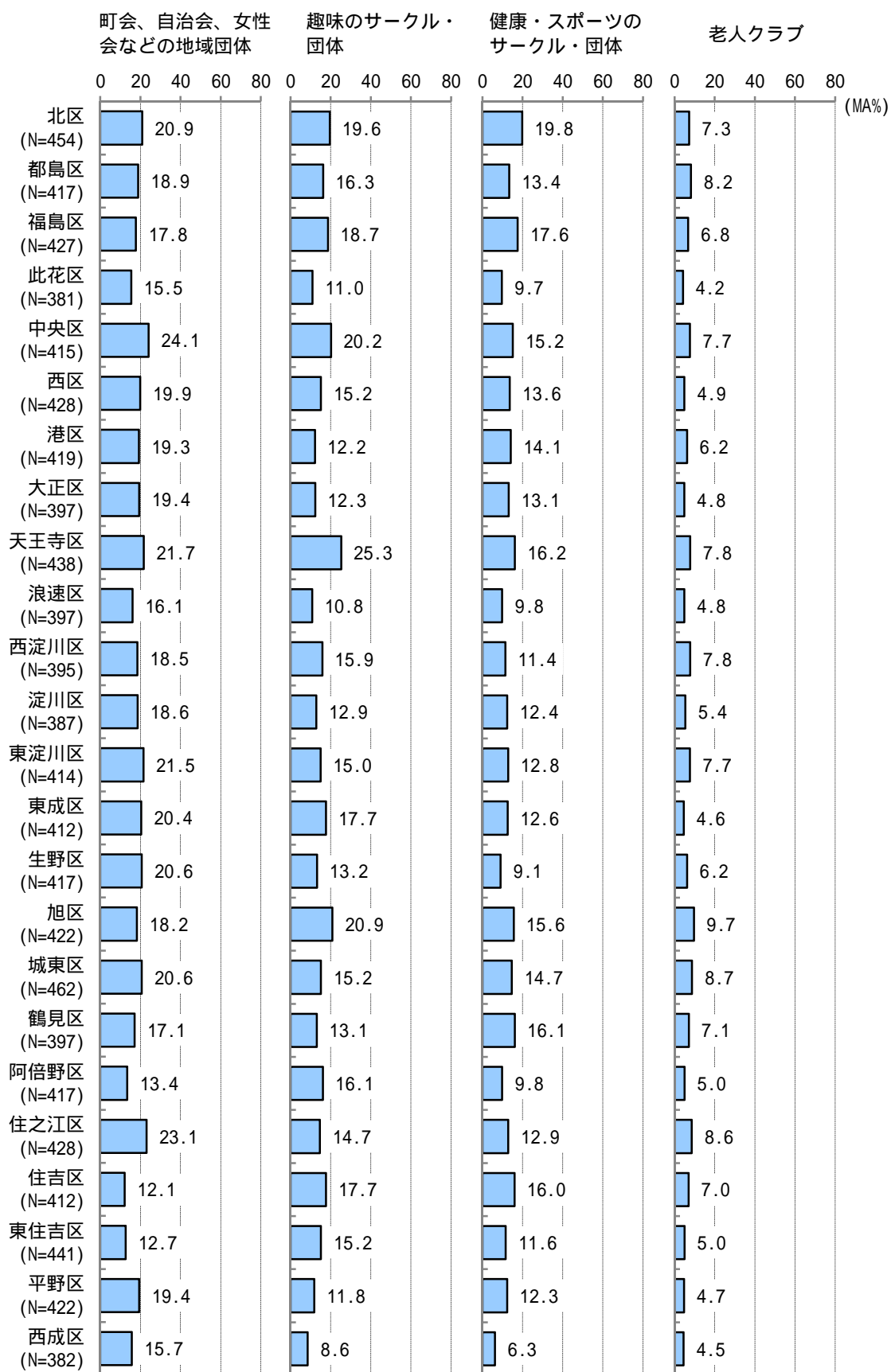
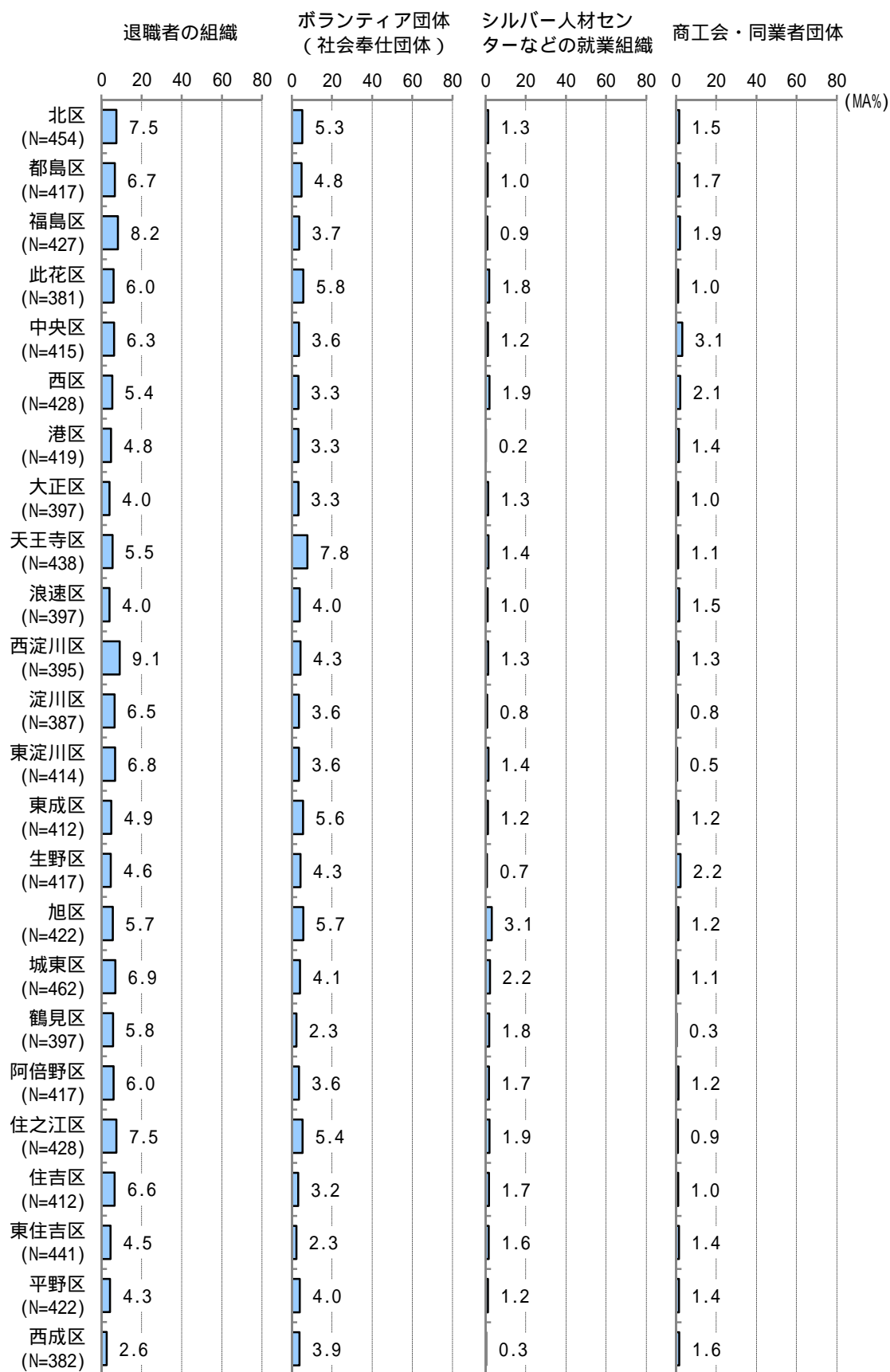


居住区別でみると、「参加していない」は西成区(64.7%)で最も高く、次いで浪速区(58.2%)、東住吉区(56.0%)と続いている。(図21-b)

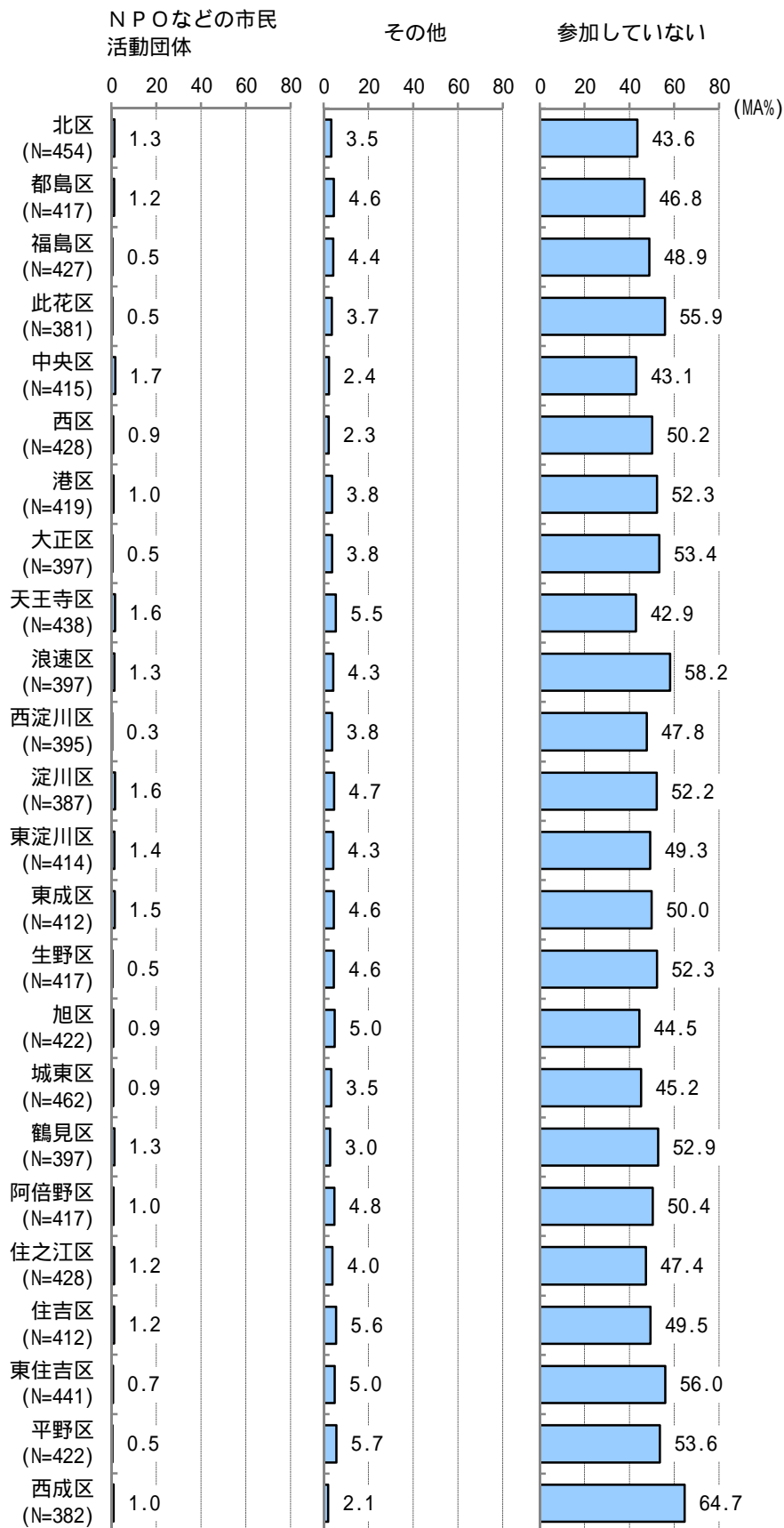
【図21-b 継続的に参加している団体や集まり(居住区別)】



【図21-b 継続的に参加している団体や集まり（居住区別）】



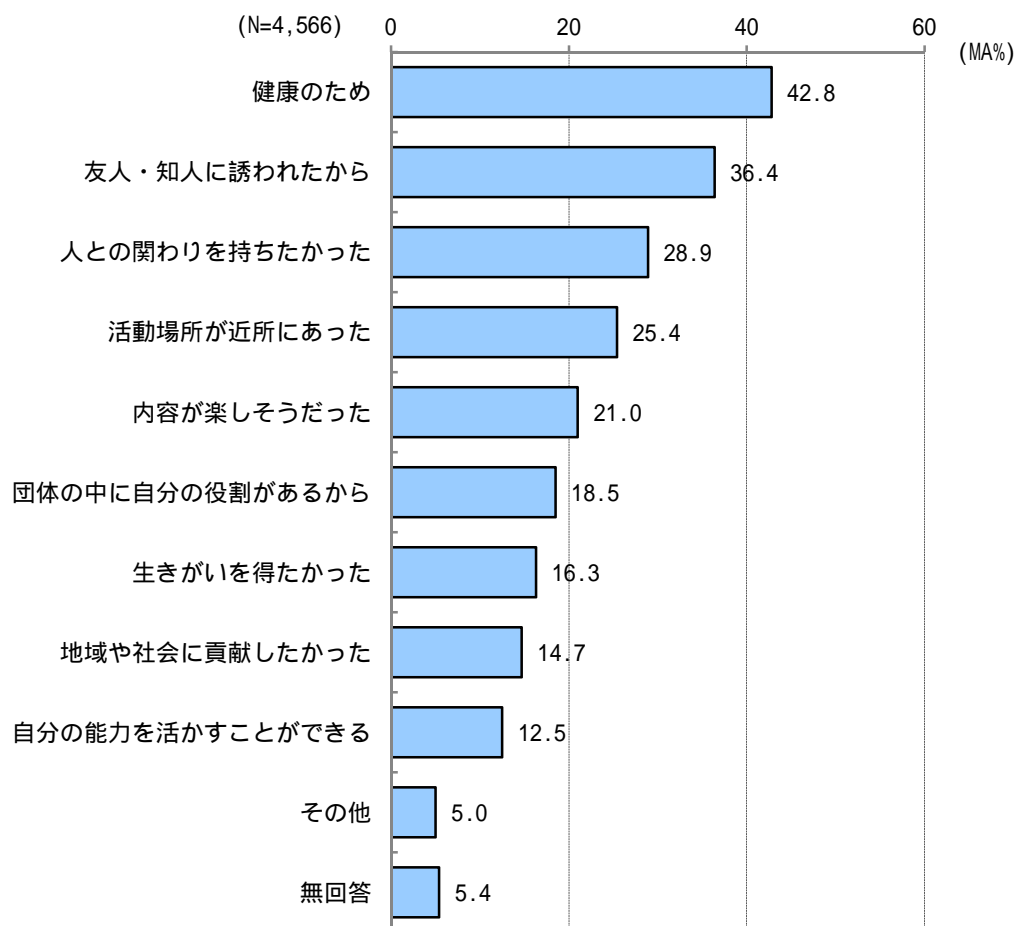
【図21-b 継続的に参加している団体や集まり（居住区別）】



問21-1 参加のきっかけ

【問21で「1～10」と回答された方におうかがいします。
あなたが、参加するようになったきっかけは何ですか。(はいくつでも)

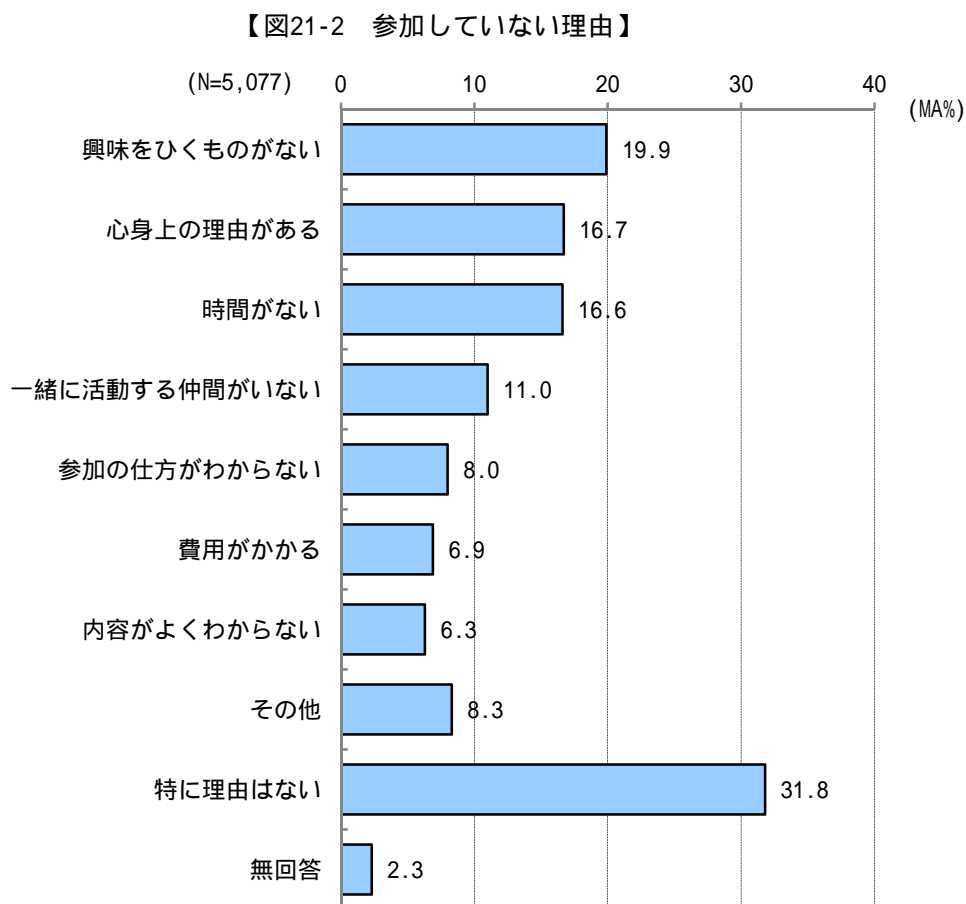
【図21-1 参加のきっかけ】



参加していると回答した人に、参加のきっかけをたずねると、「健康のため」が42.8%と最も多く、次いで「友人・知人に誘われたから」(36.4%)、「人との関わりを持ちたかった」(28.9%)となっている。(図21-1)

問21-2 参加していない理由

【問21で「11 参加していない」と回答された方におうかがいします。
あなたが、参加していない理由は何ですか。(はいくつでも)

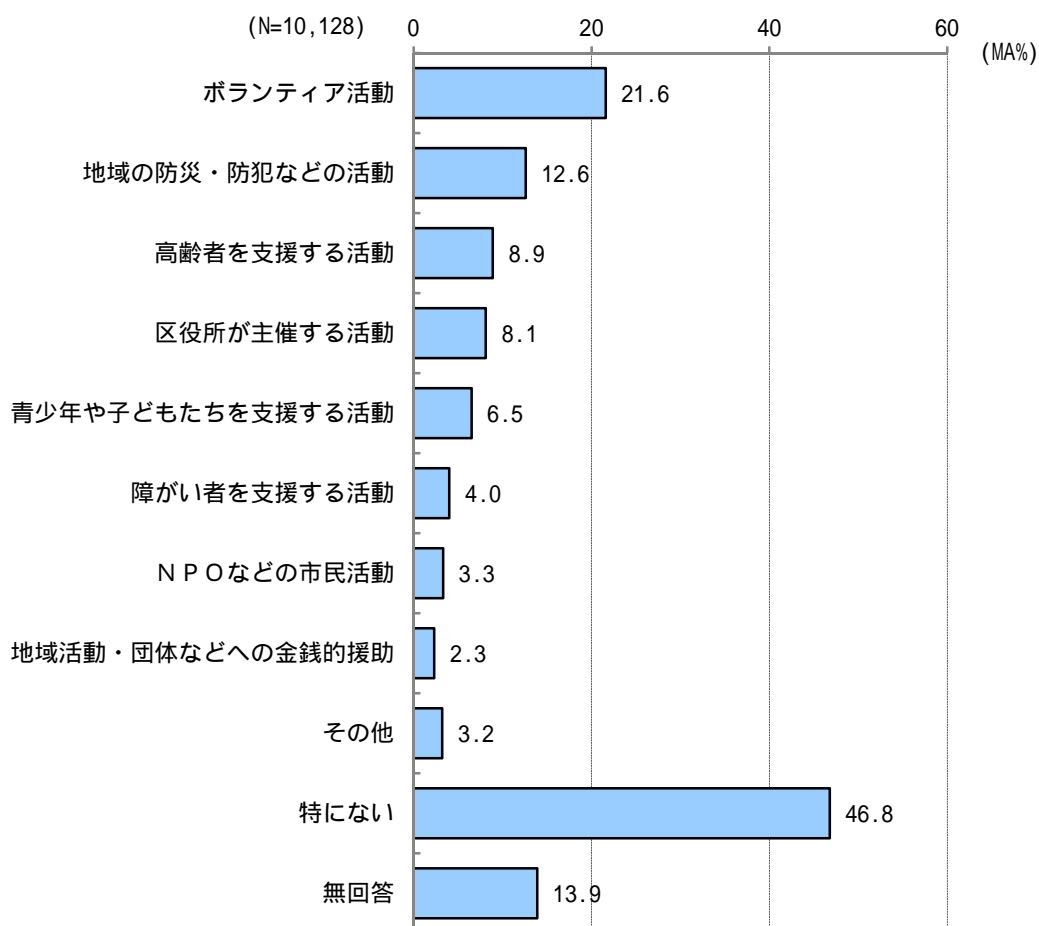


参加していないと回答した人に、参加していない理由をたずねると、「特に理由はない」が31.8%と最も多い。次いで「興味をひくものがない」(19.9%)、「心身上の理由がある」(16.7%)、「時間がない」(16.6%)となっている。(図21-2)

問22 地域社会に貢献できると考える活動

今後、少子高齢化が進んでいく中、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されますが、あなたが、地域社会に貢献できるとお考えの活動はどのようなことですか。
(はいくつでも)

【図22 地域社会に貢献できると考える活動】

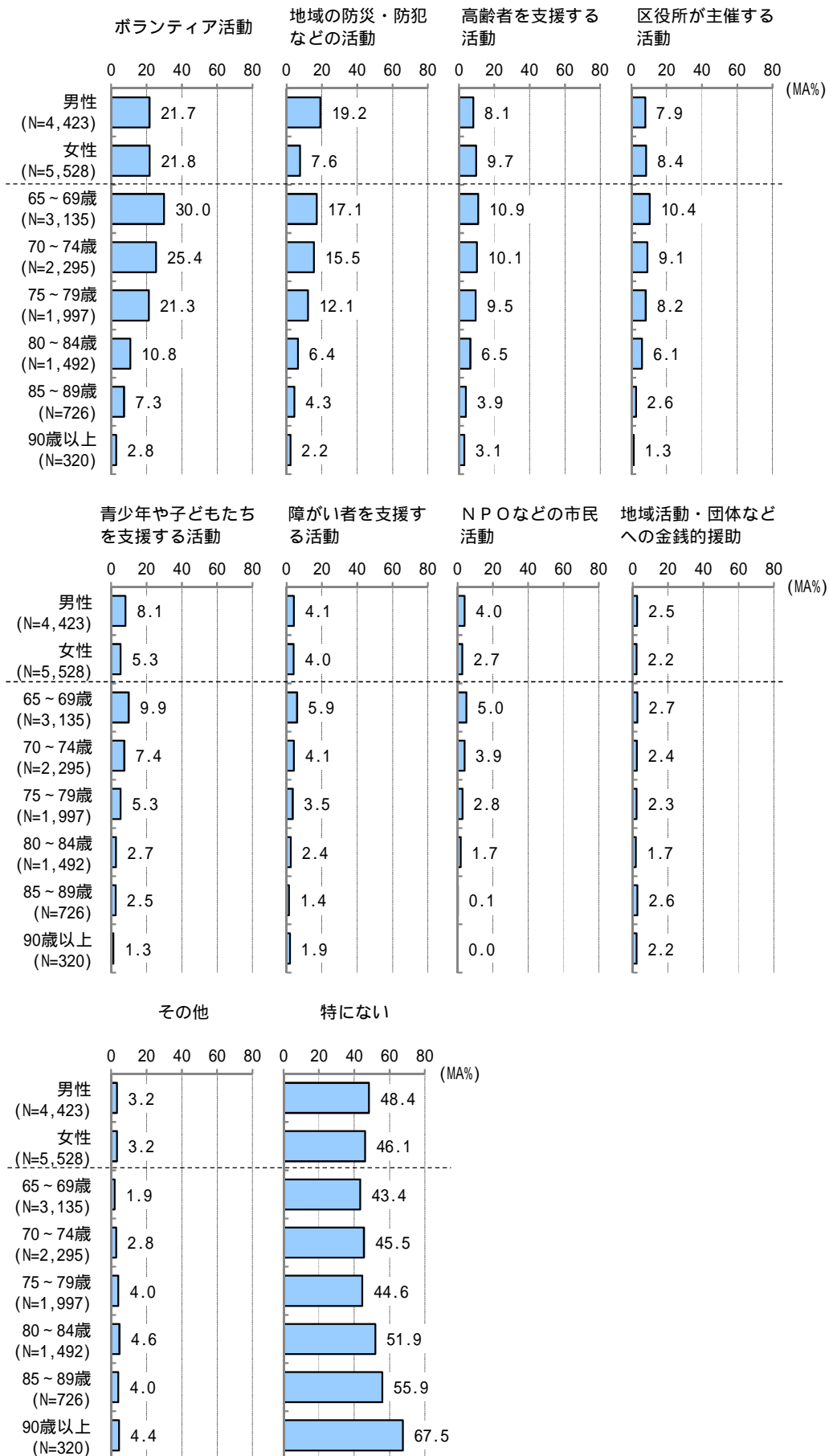


地域社会に貢献できると考える活動についてたずねると、「ボランティア活動」が21.6%で最も多く、次いで「地域の防災・防犯などの活動」(12.6%)、「高齢者を支援する活動」(8.9%)となっている。一方で、「特にない」が46.8%であり、回答の中では最も多くなっている。(図22)

性別でみると、「地域の防災・防犯などの活動」の回答割合は男性の方が1割以上高い。

年齢別でみると、「地域活動・団体などへの金銭的援助」を除く項目で、高齢になるほど割合が低くなっている。(図22-a)

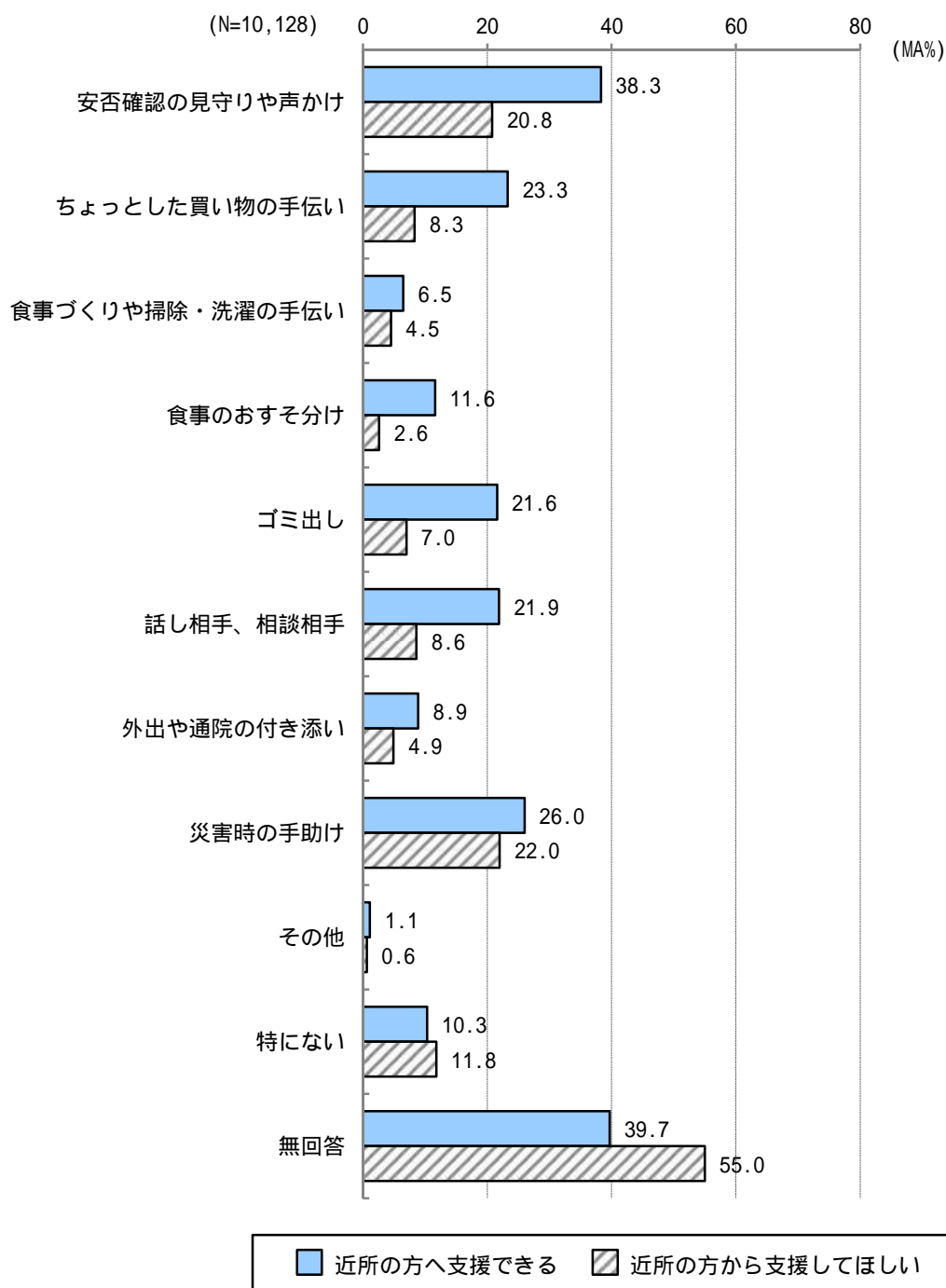
【図22-a 地域社会に貢献できると考える活動（性別・年齢別）】



問23 近隣への支援と近隣からの支援

次の項目それぞれについて、近所の方がお困りのときあなたが支援できること、また、あなたがお困りのとき（今後、お困りになったとき）に地域の人に手助けをしてほしいことをつけてください。（はいいくつでも）

【図23 近隣への支援と近隣からの支援】



近所の方へ支援できることについては、「安否確認の見守りや声かけ」が38.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(26.0%)、「ちょっとした買い物の手伝い」(23.3%)となっている。

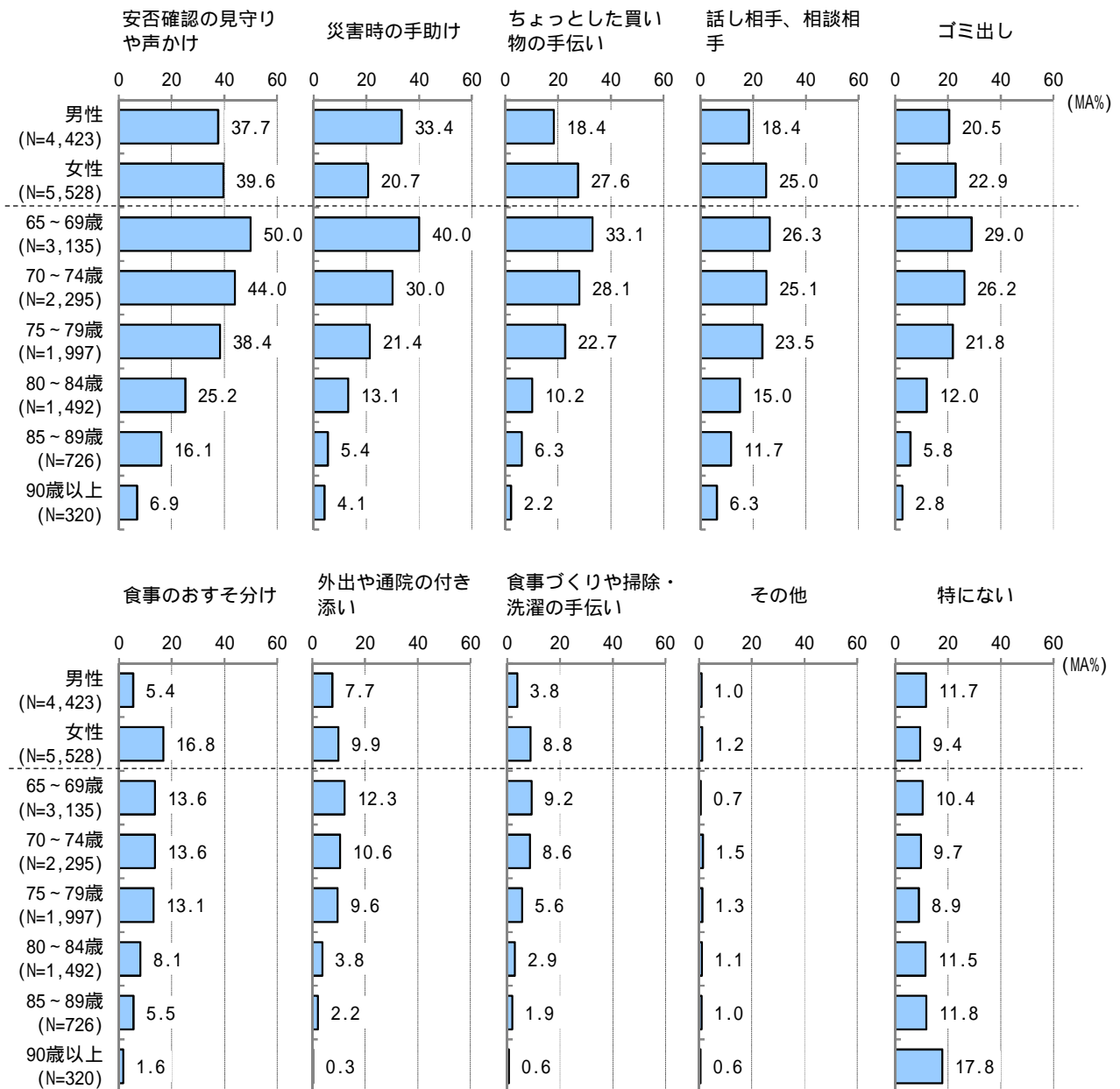
近所の方から支援してほしいことについては、「災害時の手助け」が22.0%で最も多く、次いで「安否確認の見守りや声かけ」(20.8%)、「特にない」(11.8%)となっている。

支援できることと支援してほしいことを比較すると、「安否確認の見守りや声かけ」については17.5ポイント差、「ちょっとした買い物の手伝い」は15.0ポイント差、「ゴミ出し」は14.6ポイント差、「話し相手、相談相手」は13.3ポイント差とそれぞれ差が大きく、支援してほしいことより支援できることのほうが高い割合となっている。(図23)

近所の方へ支援できることについて性別でみると、「災害時の手助け」の回答割合は男性の方が、それ以外の項目は、女性の方が高くなっている。

年齢別でみると、いずれの項目も高齢になるほど低くなっている。(図23-a)

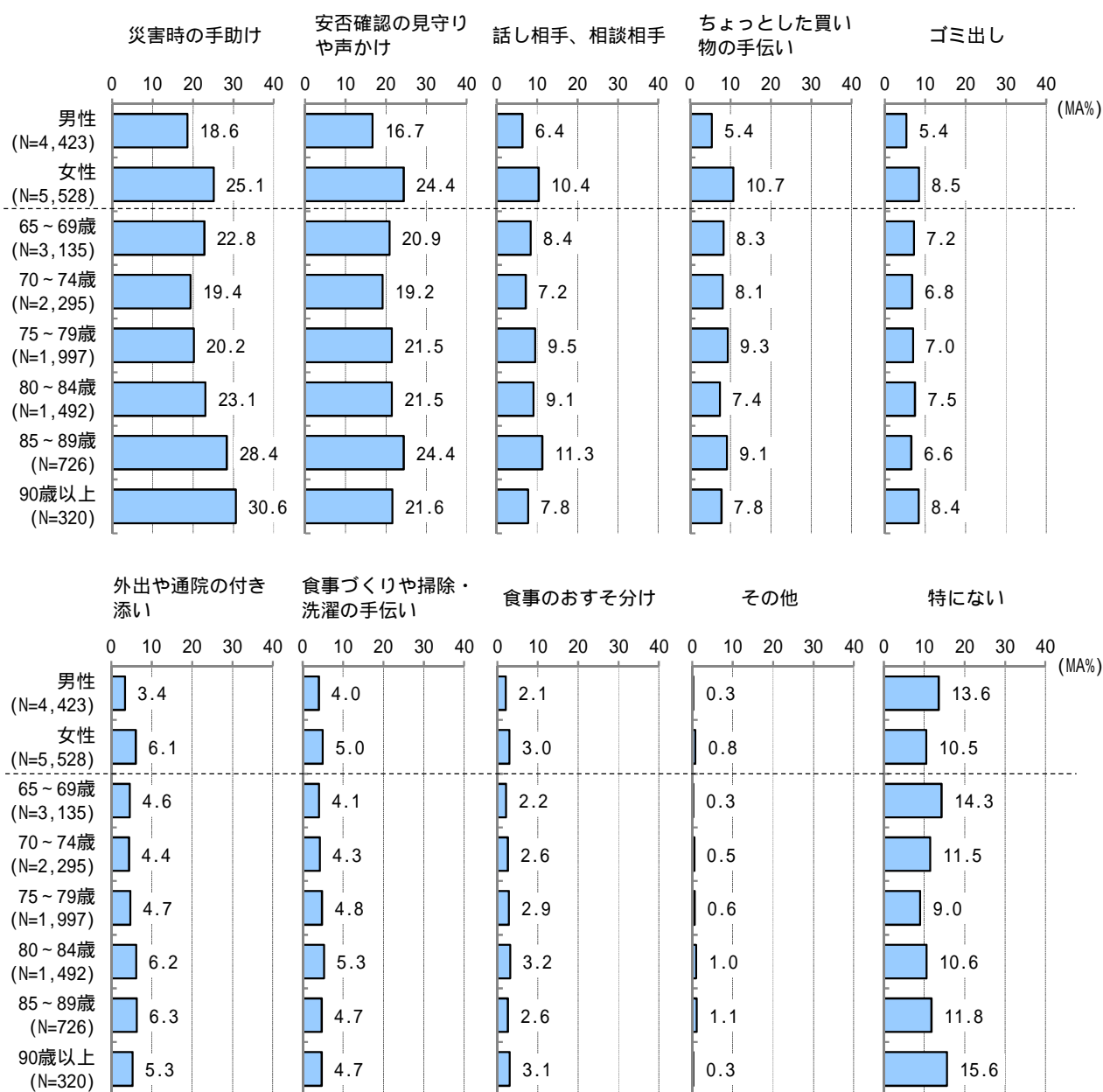
【図23-a 近隣への支援と近隣からの支援〔近所の方へ支援できる(性別・年齢別)〕】



近所の方から支援してほしいことについて性別で見ると、いずれの項目も女性の方が割合が高くなっている。

年齢別で見ると、「災害時の手助け」は90歳以上が30.6%で最も高くなっている。(図23-b)

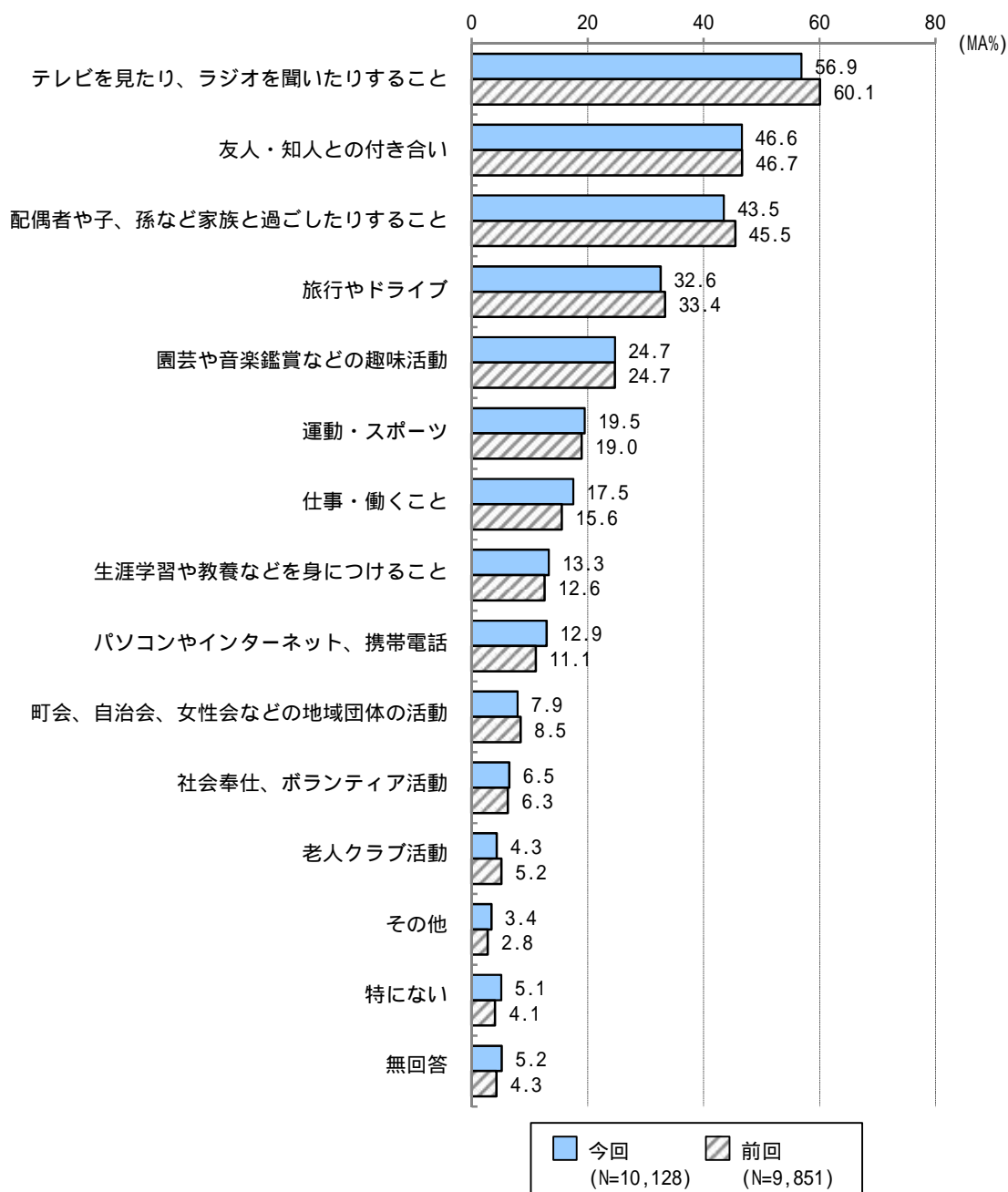
【図23-b 近隣への支援と近隣からの支援〔近所の方から支援してほしい(性別・年齢別)〕】



問24 楽しみや生きがい

あなたにとっての楽しみや生きがいはどのようなことですか。(はいいくつでも)

【図24 楽しみや生きがい】



楽しみや生きがいについては、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること」が56.9%で最も多く、次いで「友人・知人との付き合い」(46.6%)、「配偶者や子、孫など家族と過ごしたりすること」(43.5%)となっている。

前回調査と比較すると、各割合に多少の差はあるものの、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること」が最も多く、次いで「友人・知人との付き合い」、「配偶者や子、孫などご家族と過ごしたりすること」の順であり、概ね同様の傾向となっている。(図24)

性別でみると、「運動・スポーツ」「仕事・働くこと」「パソコンやインターネット、携帯電話」「社会奉仕、ボランティア活動」の回答割合は男性の方が高くなっている。

年齢別でみると、「旅行やドライブ」「園芸や音楽鑑賞などの趣味活動」「運動・スポーツ」